

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	情報科学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期 木曜1限又は2限	教室名	PCルーム,他
担 当 教 員	①BSC、②島崎拓則	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
この授業では、学生がコンピュータ自体の操作の習熟をはかることはもちろん、ソフトウェア間の連携、コンピュータネットワーク環境の適切な利用ができることに重点を置いて実施する。これにより、在学中ならびに卒業後の情報処理スキルの向上を図る。						
《成績評価の方法と基準》						
①定期試験100%で評価						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
①イーラーニングテキスト 対面授業、オンライン(ライブ)、オンデマンドの3つの授業形態(ハイフレックス型授業)で、テキストや動画を見ながら学生が独学できるようデザインされた教材です。講義は基礎分野と応用分野に分類されています。						
②情報科学(医歯薬出版株式会社)						
《授業外における学習方法》						
①自宅等にインターネットにつながったPCがあれば、イーラーニングで自習できます。 欠席した場合は次の週までに課題を済ませて下さい。						
②自宅で復習を必ず行い知識の定着に努めてください。						
《履修に当たっての留意点》						
出席することが一番重要ですので、欠席しないように受講してください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	講座を受講する意義を理解し、IT・DXリテラシーを知り、情報を正しく活用できる	CCT入門 IT・DXリテラシー	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	CCT講座を受講する意義、IT・DXリテラシーを学ぶ、IT・DXリテラシー理解度テストの実施			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	PCの基本操作ができる	CCT入門 PC基本操作	タイピング練習をすることで予習復習を行う。	
		各コマにおける授業予定	ファイルの管理、クラウド、ウィンドウ操作、マウス操作、タイピングの基礎			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	検索力を身につけ、正しい情報かどうか判断できる	CCT入門 検索力	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	Web検索力、PCスキルに関するアンケート			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	Officeの基本操作ができる	CCT入門 共通操作	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	Officeの共通操作、基本操作(Excel)			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	文書作成ソフトを使って、効率的にビジネス文書を作ることができる	Word基礎1 基本操作	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	ビジネス文書とは/ページ設定/インデント/箇条書きと段落番号/均等割り付け/表の作成			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	画像や図形を駆使した文書を作成できる	Word基礎2 画像や図形	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	図形や画像を駆使した文書/画像の編集/テキストボックス/Excelグラフの貼り付け/図形の編集		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	表を駆使した文書を作ることができる	Word基礎3 表の作成	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	表を駆使した文書/表の基本/複雑な表の作成/表の編集		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	プレゼンテーションソフトの基本操作ができる	PowerPoint1 基本操作	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	テーマとバリエーション/プレースホルダー/箇条書きのレベル変更/スライド/ノートの作成		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	図形や画像を活用したスライドを作成できる	PowerPoint2 表現力を上げる	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	ワードアート/画像の挿入/テキストボックス/図形作成/図形の調整/削除		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	スライドに動きを付け、全てのスライドを完成できる	PowerPoint3 動きを付ける	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	画面切り替え効果の設定/アニメーション効果の設定/スライドショー/印刷/リハーサル		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	作成したスライドを使って発表できる(1)	PowerPoint4 発表1	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	発表/評価		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	作成したスライドを使って発表できる(2)	PowerPoint4 発表2	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	発表/評価		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	前期で習ったことを実践できる	Word試験対策	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	Word復習問題の実施		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	前期で習ったことを実践できる	PowerPoint試験対策	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	PowerPoint復習問題の実施		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ・復習	まとめ・復習	イーラーニングテキストでこれまでの講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	まとめ・復習の実施		

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	情報科学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期 木曜1限又は2限	教室名	PCルーム,他
担 当 教 員	①BSC、②島崎拓則	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
この授業では、学生がコンピュータ自体の操作の習熟をはかることはもちろん、ソフトウェア間の連携、コンピュータネットワーク環境の適切な利用ができることに重点を置いて実施する。これにより、在学中ならびに卒業後の情報処理スキルの向上を図る。						
《成績評価の方法と基準》						
①定期試験100%で評価						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
①イーラーニングテキスト 対面授業、オンライン(ライブ)、オンデマンドの3つの授業形態(ハイフレックス型授業)で、テキストや動画を見ながら学生が独学できるようデザインされた教材です。講義は基礎分野と応用分野に分類されています。						
②情報科学(医歯薬出版株式会社)						
《授業外における学習方法》						
①自宅等にインターネットにつながったPCがあれば、イーラーニングで自習できます。 欠席した場合は次の週までに課題を済ませて下さい。						
②自宅で復習を必ず行い知識の定着に努めてください。						
《履修に当たっての留意点》						
出席することが一番重要ですので、欠席しないように受講してください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	コンピュータの五大装置について説明できるようになる	教科書	教科書を事前に読んで内容を確認しておくこと	
		各コマにおける授業予定	演算装置、制御装置、記憶装置			
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	コンピュータの五大装置について説明できるようになる	教科書	教科書を事前に読んで内容を確認しておくこと	
		各コマにおける授業予定	入力装置、出力装置			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	外部装置のインターフェースについて説明できるようになる	教科書	教科書を事前に読んで内容を確認しておくこと	
		各コマにおける授業予定	コンピュータと接続するインターフェースの種類と特徴			
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	処理方法の種類について説明できるようになる	教科書	教科書を事前に読んで内容を確認しておくこと	
		各コマにおける授業予定	コンピュータが処理を行う方法の種類と特徴			
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	処理方法の種類を説明できるようになる	教科書	教科書を事前に読んで内容を確認しておくこと	
		各コマにおける授業予定	コンピュータが処理を行う方法の種類と特徴			